

令和 8 年 業種別労働災害発生状況

(令和 8 年 1 月末現在 速報値)

北見労働基準監督署

区分 業種別		令和 8 年			前年同期			対 前 年		業 種 割 合	令和 7 年確定値		
		死 亡	休 業	合 計	死 亡	休 業	合 計	増 減 数	増 減 率		死 亡	休 業	合 計
全 産 業 合 計			12 (5)	12 (5)	2	18 (11)	20 (11)	-8	-40.0	100.0			
製 造 業			1 (1)	1 (1)		5 (2)	5 (2)	-4	-80.0	8.3			
内 訳	食 料 品					2 (1)	2 (1)	-2	-100.0				
	木 材 木 製 品					2 (1)	2 (1)	-2	-100.0				
	窯 業 ・ 土 石					1	1	-1	-100.0				
	金 属 ・ 機 械								-				
	そ の 他		1 (1)	1 (1)				1	-	8.3			
鉱 業									-				
建 設 業			4 (1)	4 (1)	1	1 (1)	2 (1)	2	100.0	33.3			
内 訳	土 木 工 事 業		1 (1)	1 (1)				1	-	8.3			
	建 築 工 事 業								-				
	木 造 建 築 業		1	1	1		1			8.3			
	設 備 工 事 業		2	2		1 (1)	1 (1)	1	100.0	16.7			
道路貨物運送業			4	4		1 (1)	1 (1)	3	300.0	33.3			
その他の運輸業			1 (1)	1 (1)				1	-	8.3			
陸上貨物取扱業									-				
港 湾 運 送 業									-				
林 業					1		1	-1	-100.0				
漁 業									-				
商 業			1 (1)	1 (1)		8 (5)	8 (5)	-7	-87.5	8.3			
清 掃 ・ と 畜 業						1 (1)	1 (1)	-1	-100.0				
上 記 以 外 の 事 業			1 (1)	1 (1)		2 (1)	2 (1)	-1	-50.0	8.3			

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)、死亡災害の報告により集計したもので、[]内の数字は、転倒災害の件数で内数です。
本統計は、速報値であり後日修正されることがあります。
本統計は、北海道労働局ホームページからダウンロードできます。

○1月の労働災害発生状況(速報値)は、前年同期と比較し8名減少の12名となりました。転倒による災害が前年同期と比較し6名減少しました。凍結や積雪路面での転倒が多く発生する時期となっておりますので、転倒災害防止のために労働者へ注意喚起する他、敷地内の凍結箇所等を把握し、あらかじめ積雪・凍結箇所を除雪したり砂をまく等して細心の注意を払ってください。

○冬季ゼロ炭運動を展開中です。凍結路面での転倒や交通事故等に引き続き注意を払ってください。また、室内と室外の温度差が激しい時期ですので体調管理にもお気をつけください。

○2月は「化学物質管理強調月間」です。

スローガン 「慣れた頃こそ再確認 化学物質の扱い方」

厚生労働省では、職場における危険・有害な化学物質管理の重要性に関する意識の高揚を広く一般に図るとともに、化学物質管理活動の定着を図ることを目的に「化学物質管理強調月間」を毎年2月に実施しております。

化学物質による急性や慢性の中毒の他、身近にある製品でも酸性やアルカリ性による皮膚障害等の労働災害が発生しています。本月間を契機として、化学物質を製造又は取り扱う事業場において、化学物質に関する危険有害性等の確認や健康障害防止対策の徹底など、化学物質管理活動に積極的に取り組みましょう。

○令和6年11月から令和7年3月までの冬季に6名の死亡労働災害が発生しました。内訳は林業3名(伐倒木に激突される2名、かかり木が倒れてくる1名)、建設業2名(墜落する1名、交通事故(冬型)1名)、道路貨物運送業1名(交通事故(冬型))です。死亡災害等の発生に注意が必要な時期です。

令和 8 年 死亡労働災害発生状況

北見労働基準監督署

件数	発生月 時間帯	事業 の 種類	職 種	災害の種類	災 害 発 生 状 況 の 概 要
				起因物	
					発生していません。

※ 脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。